

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		セーフティパトロール事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	後藤一男
	施策	2	防犯対策の推進			所属課	学校教育課	担当者名	花田秀樹
	基本事業	5	地域防犯対策の充実			所属班	総務施設班	(内線)	2223
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	5
		1	10	1	2	10027		コスト削減優先度評価結果	5
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 不明 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	警備会社と委託契約を行ない、登下校時間帯を自転車又は徒歩により巡回警備を行い、児童生徒の安全確保と犯罪防止を目的とした事業。 平成14年度、旧西合志町において国補助で開始された。 児童を取り巻く犯罪発生が多発している。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①4月上旬入札し業者と委託契約 ②委託業者と各小中学校との打合せ ③巡回警備実施 毎月日報の提出 ④毎月委託料の支払い ⑤3月来年度の準備
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	教育委員から、地域で組織する防犯パトロールでは対応しきれないので存続を希望する旨の発言あり。 合志南小PTA新聞担当者からは、合志区域の充実を望む意見があった。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)

市内3ブロックを5人のパトロール隊で巡回警備を行なった。

22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)

21年度と同様に実施する。

④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標

⇒ ア パトロール日数

(単位)

日

⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標

⇒ ア 児童生徒数

⇒ イ 小中学校数

(単位)

人

校

② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等

市内小中学校校区

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

登下校時での児童生徒の安全を確保する

⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標

⇒ ア 登下校時の事故発生件数

⇒ イ 不審者の目撃情報

(単位)

件

件

*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠

巡回警備を行うことにより、事故や不審者出没の抑制につながっているかどうかをそれぞれ発生件数や目撃情報の件数で把握する。

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	19年度	20年度	21年度	21年度	22年度	23年度	24年度		
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込		
④ 活動指標	ア	日	1015	1015	1015	995	1015	1015	1015		
	イ										
⑤ 対象指標	ア	人	5131	5172	5262	5262	5270	5351	5506		
	イ	校	10	10	10	10	10	10	10		
⑥ 成果指標	ア	件	2	10	0	5	0	0	0		
	イ	件	8	8	0	9	0	0	0		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			繰入金	千円							
			一般財源	千円	5,229	5,933	6,232	6,227	6,232	6,232	6,232
		(A) 事業費計	千円	5,229	5,933	6,232	6,227	6,232	6,232	6,232	
		(A)のうち指定経費	千円								
		(A)のうち時間外、特勤	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	30	50	50	50	50	50	50	
		(B)人件費計	千円	119	200	199	199	199	199	199	
トータルコスト(A)+(B)			千円	5,348	6,133	6,431	6,426	6,431	6,431		

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

0

0

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

合志市

事務事業名	セーフティパトロール事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)
*原則は21年度の後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【理由】	目標値の0件というのは現実的無理なので達成しなかった。今後目標値設定を見直す
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☐ 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ☒ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】	今後目標値設定を見直す
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	広範囲を5人で自転車巡回のため、行動範囲が広くとれない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	地域防犯組織は「見守り」的な性質であるのに対し、セーフティ隊不審者への声かけを能動的に行うなど犯罪抑止効果が目的で他に手段はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	委託費用の積算金額をかなり安価に抑えている。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	最小の人員で対応しているので、余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	市内全校区を対象にしており、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】	業務日誌等から、市民の方々からの感謝、児童生徒からの感謝、または地区のセーフティパトロール隊との連携、それらは長年継続してやってきて人々に安心を与えている。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

業務日誌などを見ると、児童生徒の見守りだけではなく、不審者情報、公園等で未成年者への喫煙等の注意、困っている児童生徒への援護など、様々な事例が見受けられ、MSIにはでない市民の安心感を与えていると思う。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☒ 事業のやり方改善(有効性改善)

☐ 事業のやり方改善(効率性改善)

☐ 事業のやり方改善(公平性改善)

☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

地区のセーフティパトロールが充実すれば、全体的に見直す必要がある。

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○		
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

入札による委託契約を行い、成果を下げずにコストの削減を図る。